

2014年3月期 決算説明会

2014年5月14日
THK株式会社
代表取締役社長
寺町彰博

本資料に含まれている事業計画、業績予想、経営戦略など将来の見通しに関する事項は、本資料制作時点において入手可能な情報に基づき、THK株式会社の経営者が判断したものです。したがって、環境の変化により、業績や戦略の進捗状況が異なることがあり得ることをご承知ください。また、当資料には決算開示事項以外の参考情報が含まれますこともご承知ください。

目次

- I. 2014年3月期 決算概要
- II. 中期経営計画 14年度～16年度
- III. 2015年3月期 業績予想

I. 2014年3月期 決算概要

売上高は前期比10.2%増加の1,854億円となった

※地域別売上高は
海外売上高ベース

- 国内では、前半はエレクトロニクス関連の需要に緩やかな回復が見られたが、夏場にその需要が減少したことに加えてその他需要が低位に推移した。期の後半になってエレクトロニクス、工作機械向けなどが回復に向かったが国内売上高は前期に比べて減収となった。
- 海外では、米州は一般機械やエレクトロニクス、輸送用機器向けにおいて需要は堅調に推移し、欧州ではエレクトロニクス、輸送用機器向けにおいて需要に回復の動きが見られた。中国においても小型工作機械、輸送用機器向けを中心に需要は好調に推移した。これらに加え、為替が前期に比べて円安で推移したことなどにより、海外売上高は前期に比べて増収となった。

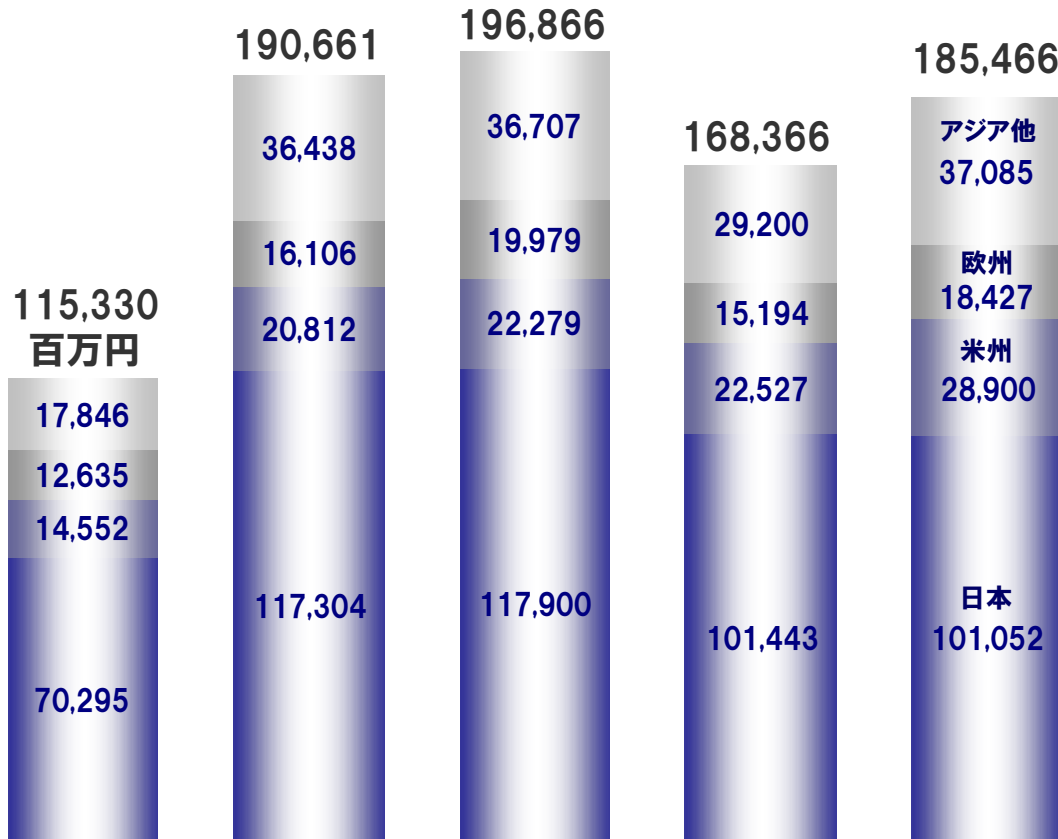
営業利益は前期比48.6%増加の173億円となった

- 変動費比率の改善
- 為替の円安による増益
- 売上高の増加による影響
- 固定費の増加

期初計画に対しては売上高、営業利益が未達ながらも経常利益以下は上回る

- 期初計画に対して売上高、営業利益が未達成ながらも為替差益などにより経常利益、当期純利益は計画を上回った

売上高の推移



邦貨換算レート	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3
1US\$	93.58	87.81	79.84	79.83	97.65
1EUR	130.21	116.39	111.11	102.63	129.69

アジア他 | 前期比 +27.0%

- 中国 +45.8%
- 台湾 +14.3%
- シンガポール Δ8.1%

欧州 | 前期比 +21.3%

- 工作機械 +3.6%
- 一般機械 +12.7%
- エレクトロニクス +20.0%

米州 | 前期比 +28.3%

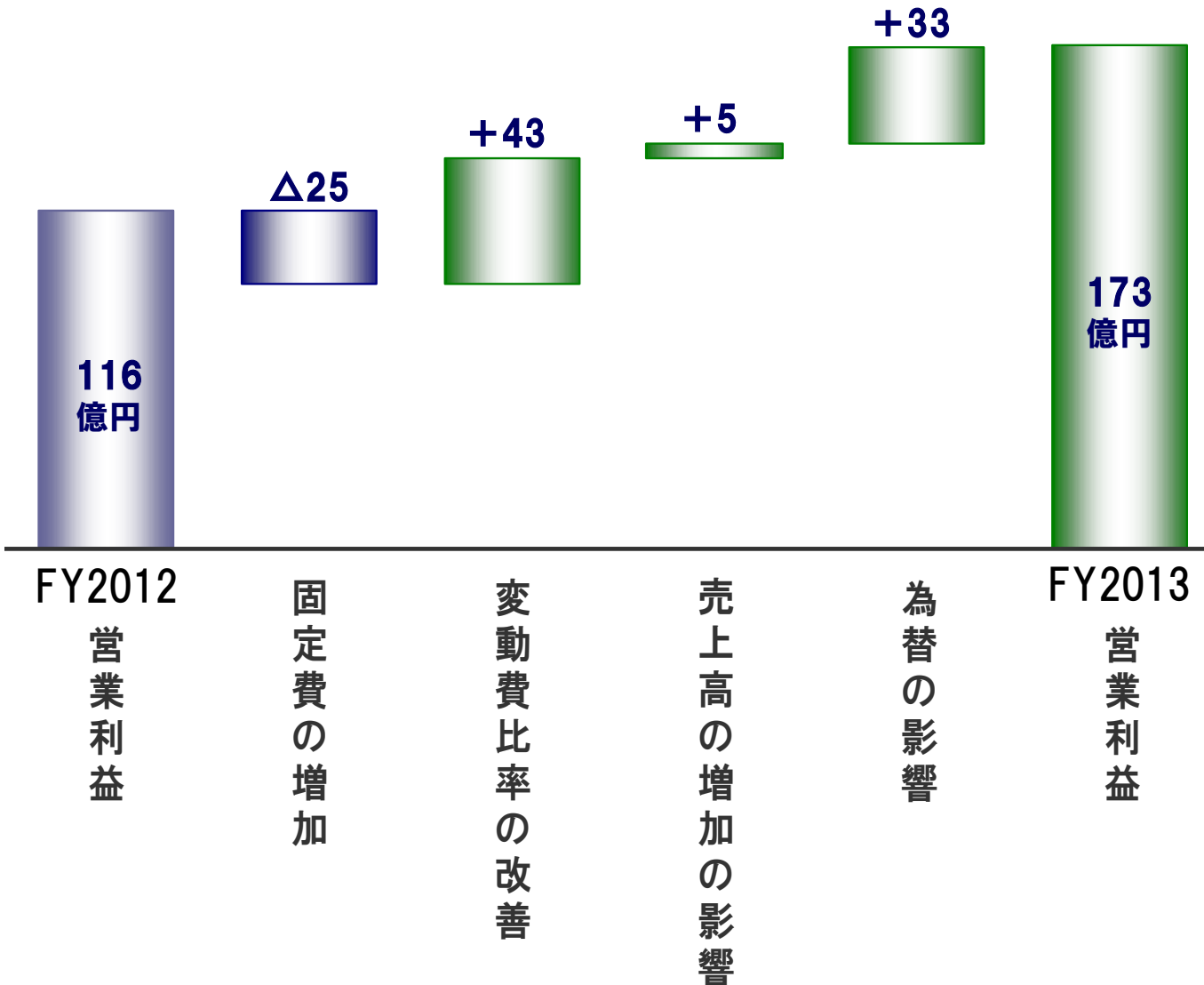
- 工作機械 +3.3%
- 一般機械 +12.8%
- エレクトロニクス +46.2%

日本 | 前期比 Δ0.4%

- 工作機械 Δ19.5%
- 一般機械 +2.8%
- エレクトロニクス Δ2.3%

※地域別売上高は所在地セグメントではなく海外売上高ベース

(参考) 営業利益 増減要因



資産・負債/純資産の状況

総資産 336,416 百万円
 前期比 +43,270 百万円

現金及び預金 | 前期比 +22,375百万円

営業CF	23,664百万円
投資CF	△9,553百万円
財務CF	△2,790百万円
換算差額	11,054百万円

売上債権 | 前期比 +6,440百万円

売上債権回転月数	前期 3.3ヶ月 当期 3.4ヶ月
----------	----------------------

棚卸資産 | 前期比 +4,666百万円

棚卸回転月数	前期 1.7ヶ月 当期 1.9ヶ月
--------	----------------------

有形固定資産 | 前期比 +7,141百万円

設備投資	8,887百万円
減価償却費	10,843百万円

無形固定資産 | 前期比 +1,445百万円

投資その他の資産 | 前期比 +734百万円

流動資産

227,890
 前期比 +33,949

固定資産

108,526
 前期比 +9,321

負債

114,267
 前期比 +10,180

純資産

222,148
 前期比 +33,090

流動負債 | 前期比 △1,166百万円

- 仕入債務 | 前期比 +4,565百万円
仕入債務回転月数 前期 1.5ヶ月
当期 1.6ヶ月
- 未払法人税等 | 前期比 +3,631百万円
- 1年以内長期借入金 | 前期比 △20,000百万円
- 1年以内償還予定社債 | 前期比 +10,000百万円

固定負債 | 前期比 +11,346百万円

- 社債 | 前期比 +10,000百万円

当期純利益 15,590百万円

為替換算調整勘定 | 前期比 +20,061百万円

Ⅱ. 中期経営計画 (2014年度～2016年度)

2016年度 数値目標

連結売上高 2,500億円

営業利益 400億円

ROE 10%以上

【前提条件】 為替1ドル=100円 IMF世界経済成長率 3.8%平均

中期経営計画のポイント

2016年度を最終年度とするフィックスプラン

過去最高売上高 過去最高益の更新

基本戦略の継続とその更なる強化

長期経営目標 売上高3,000億円 営業利益率20%への経営基盤の確立



最重要テーマ

生産財における成長分野の深耕、シェア拡大

消費財における新規分野の拡大

トップライン拡大

生産財分野
市場平均成長率
5%程度を想定

約650億円アップ

FY2016
2,500億円

自動車部品
+130億円

産業用機器
その他
+520億円

- 既存顧客拡大
- 新規顧客拡大
- 新規分野拡大

【新規分野拡大の主要分野】
医療関連
航空機関連
免震制震
エネルギー関連
etc.

FY2013
1,854億円

日本
1,173億円
米州
385億円
欧州
233億円
アジア他
709億円

主な施策

1. 営業戦略の再構築

- ・販売網の拡充
- ・ボリュームゾーン対応の強化
- ・マーケティング・戦略機能強化

2. 全社総出での消費財分野の開拓

3. 新規開発品の売上高の拡大

トップラインの拡大：販売網の拡充



営業拠点



生産拠点

中国：直接・間接販売の強化



営業拠点 35
生産拠点 5
開発拠点 1

インド：販売の強化

営業拠点 1

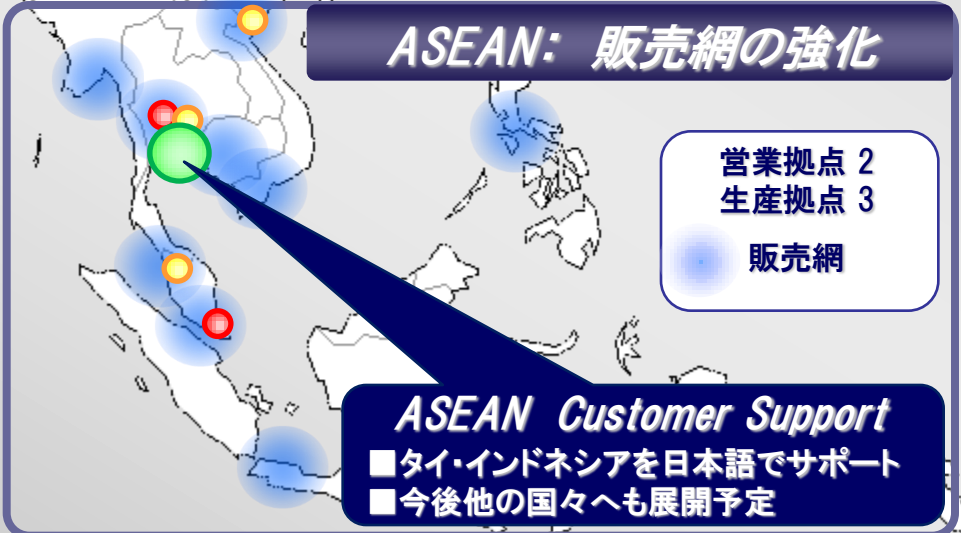


THK India



営業拠点開設予定

ASEAN：販売網の強化



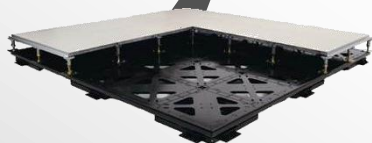
営業拠点 2
生産拠点 3
販売網

ASEAN Customer Support

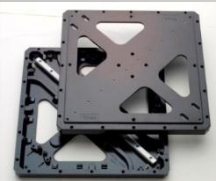
- タイ・インドネシアを日本語でサポート
- 今後他の国々へも展開予定

トップライン拡大： ACE事業部の展開

機器免震



採用数が急拡大

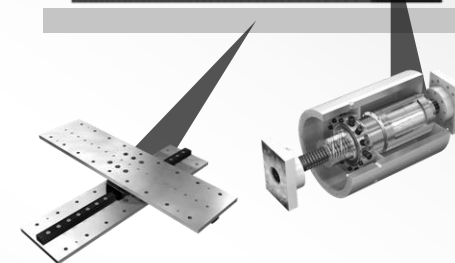


戸建免震・制震

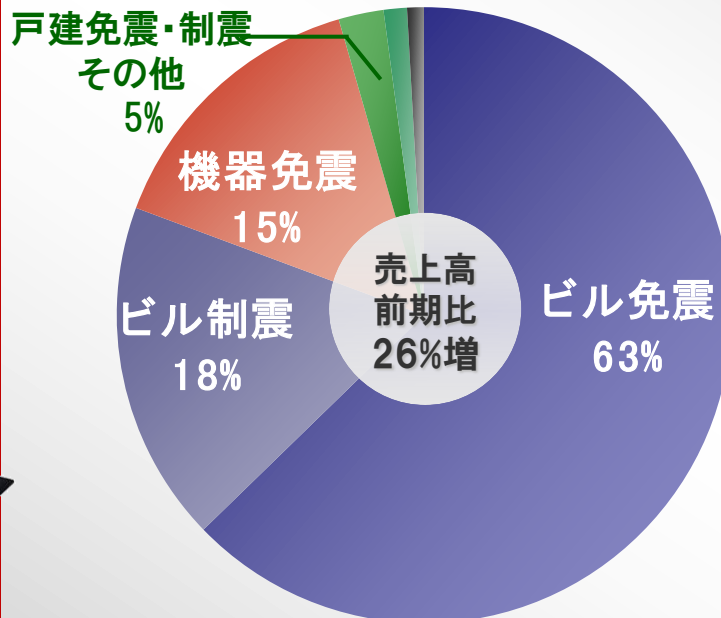
採用棟数が着実に増加



ビル免震・制震



従来製品に比べ、
減衰性能をさらに向上



ACE事業部の売上構成(2013年度)
免震・制震システム

トップライン拡大：グローバル生産体制の拡充



大連THK 移転・拡張
2014年12月稼動予定



THK RHYTHM MEXICANA
2013年稼動




2016年度 増減益要因 (2013年度比：想定)

2013年度比
営業利益
約230億円
アップ

+285

売上高の
増加の影響

△120

固定費
増加

【設備投資】
3カ年総額
450億円

【人員】
2016年度末
10,600名

+50

変動費比率
改善

+15

為替の影響

【2013年度】
1ドル=97.65円
1ユーロ=129.69円

【2016年度】
1ドル=100円
1ユーロ=140円

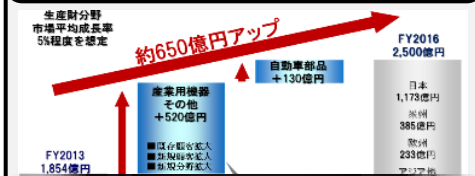
FY2016
400億円

営業利益

FY2013

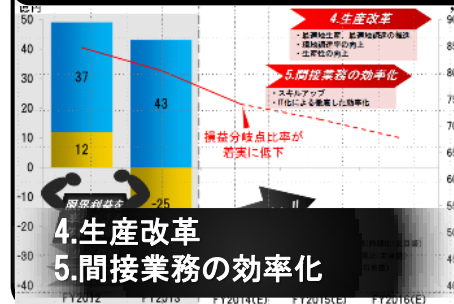
173億円

トップライン拡大



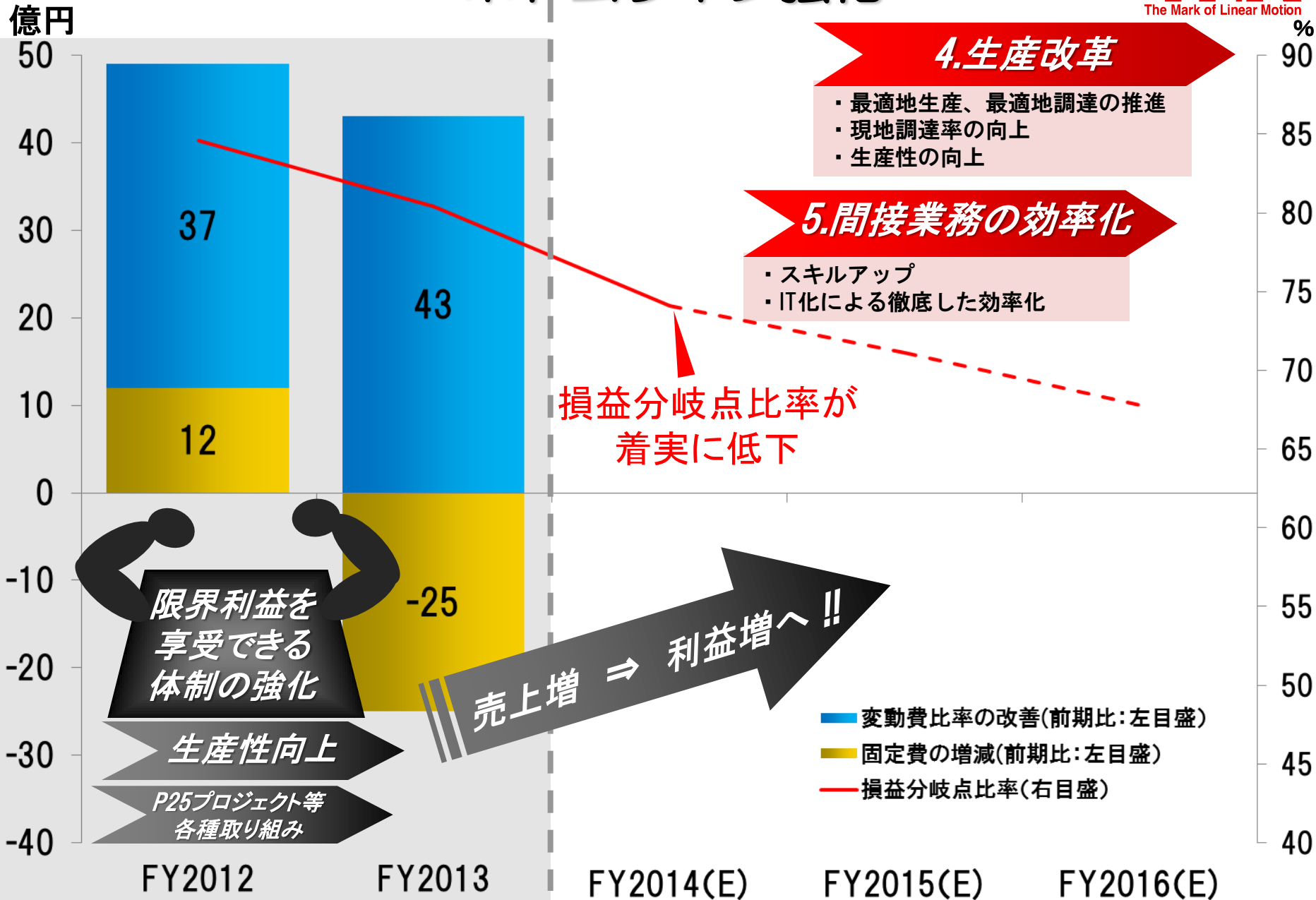
1. 営業戦略の再構築
2. 全員総出での消費財分野の開拓
3. 新規開発品の売上高の拡大

ボトムライン強化



4. 生産改革
5. 間接業務の効率化

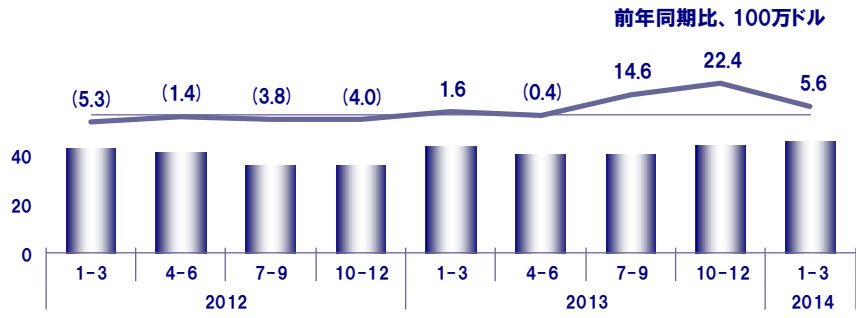
ボトムライン強化



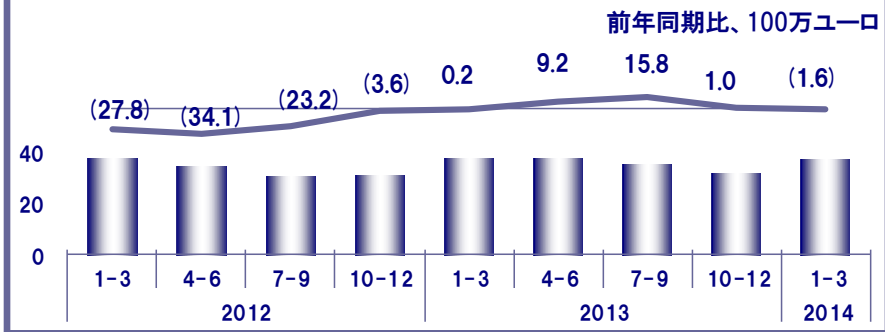
Ⅲ. 2015年3月期 業績予想

地域別受注状況

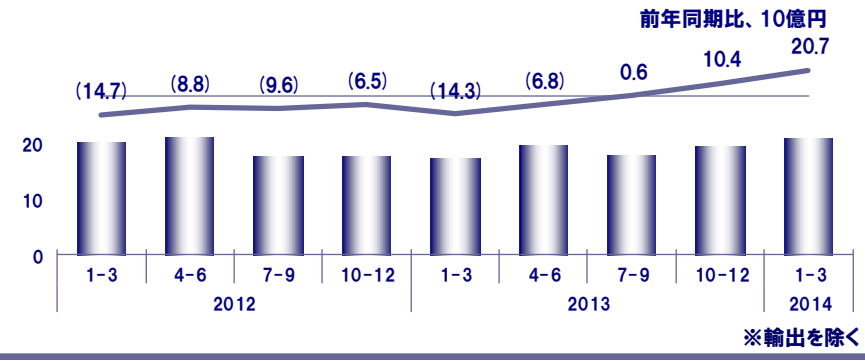
THK Holdings of America



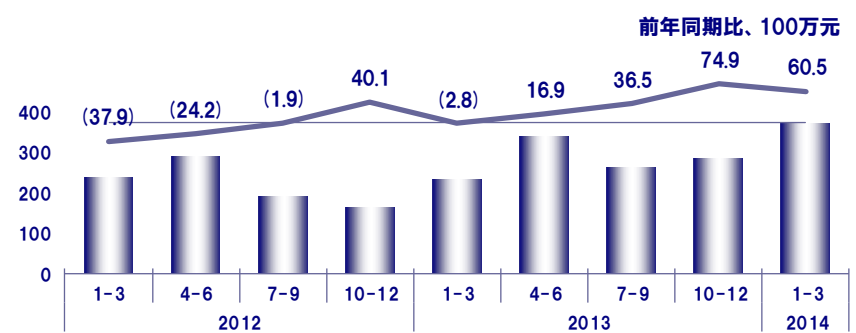
THK Europe



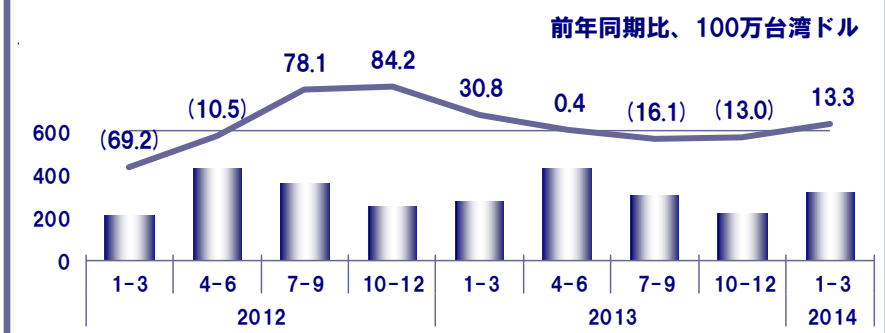
THK(国内)



THK (CHINA) + THK (SHANGHAI)



THK TAIWAN



利益計画 (連結)



(百万円)

	2015/3 計画	2014/3	2013/3
売上高	210,000	185,466	168,366
前期比	+13.2%	+10.2%	△14.5%
営業利益	27,000	17,370	11,692
前期比	+55.4%	+48.6%	△40.8%
経常利益	28,000	23,618	14,765
前期比	+18.5%	+60.0%	△22.6%
当期純利益	19,000	15,590	9,808
前期比	+21.9%	+59.0%	△22.4%

利益計画 (单独)

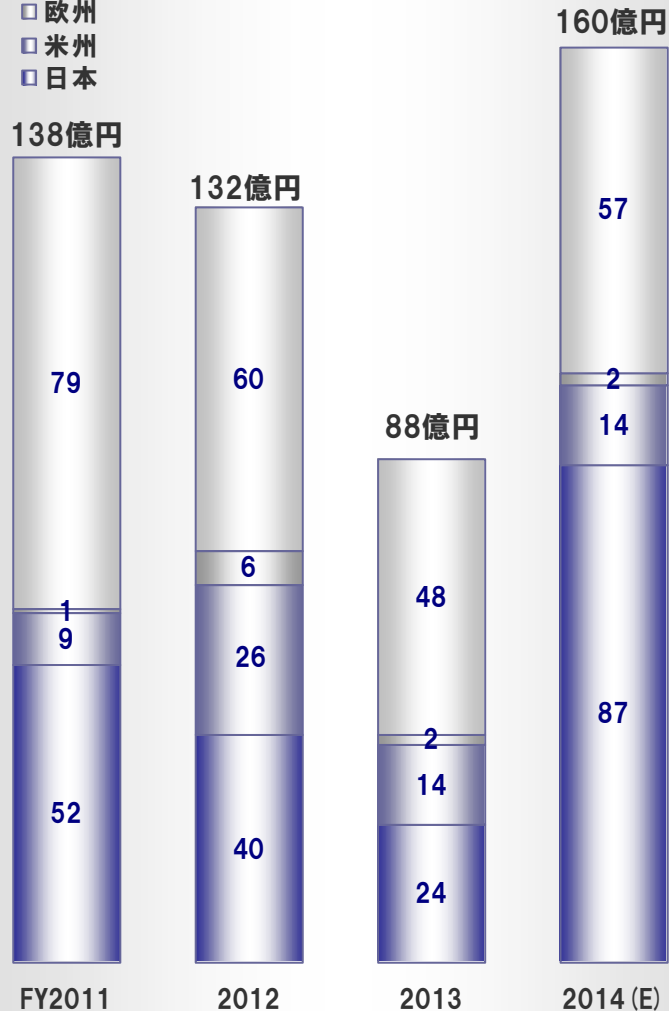
(百万円)

	2015/3	2014/3	2013/3
	計画		
売上高	125,000	111,913	104,567
前期比	+11.7%	+7.0%	△19.6%
うち国内	86,000	76,424	75,438
前期比	+12.5%	+1.3%	△15.0%
営業利益	18,400	13,808	9,825
前期比	+33.3%	+40.5%	△32.2%
経常利益	19,200	18,790	12,053
前期比	+2.2%	+55.9%	△10.1%
当期純利益	13,000	12,255	8,018
前期比	+6.1%	+52.8%	+0.8%

設備投資・従業員数計画

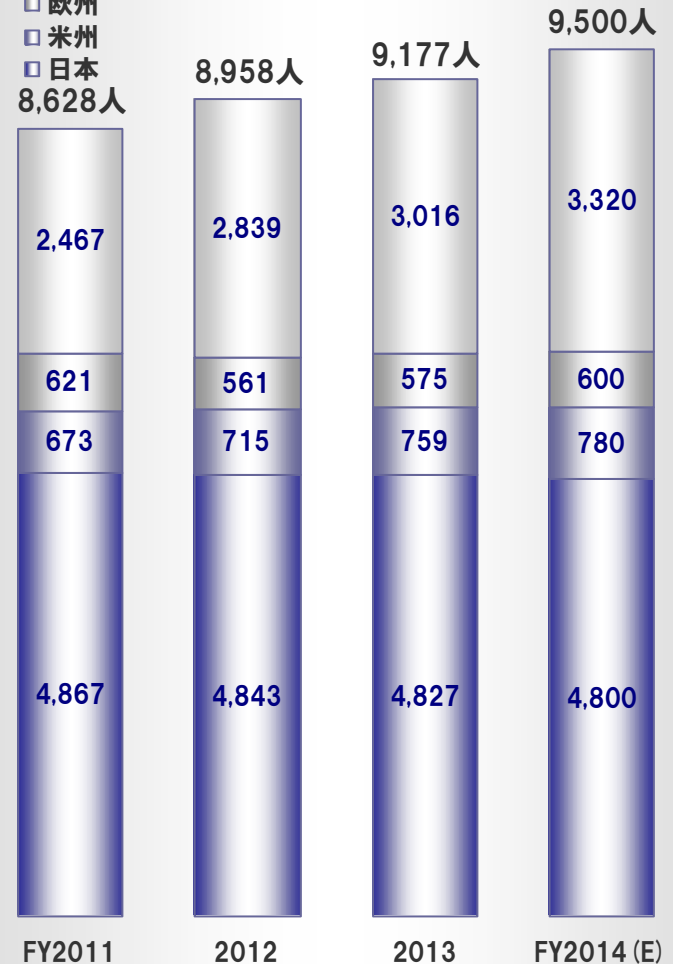
設備投資額

- アジア他
- 欧州
- 米州
- 日本



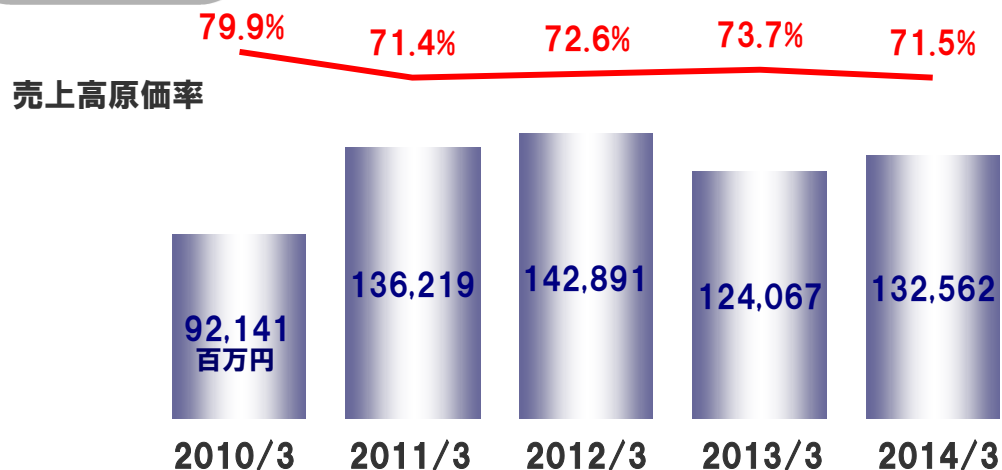
従業員数

- アジア他
- 欧州
- 米州
- 日本



売上原価および販管費の推移

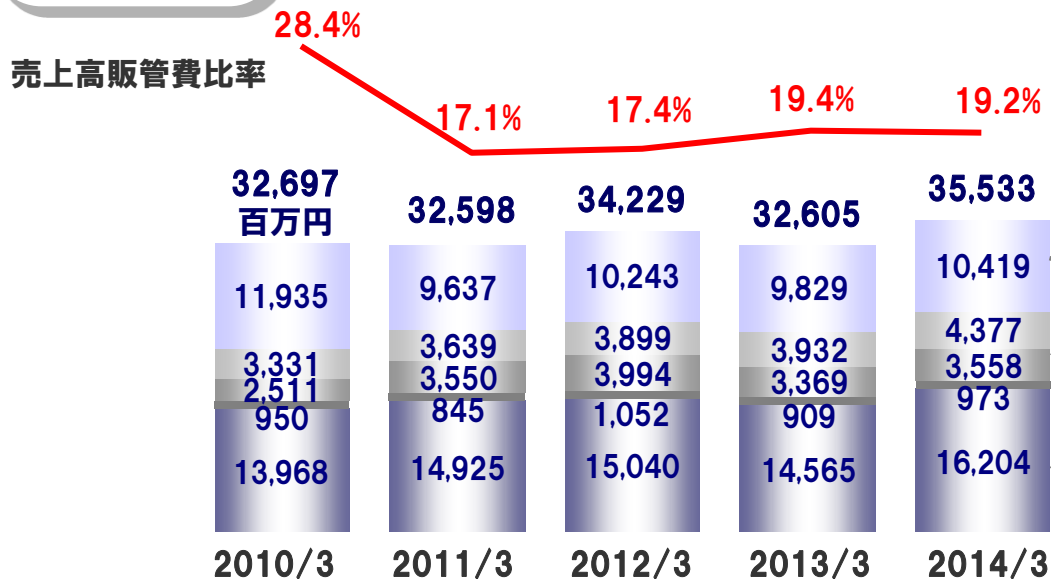
売上原価



原価率は前期比2.2ポイント低下

- ・売上高の増加
- ・変動費比率の改善
- ・為替の円安

販管費



その他 | 前期比 +589百万円、+6.0%

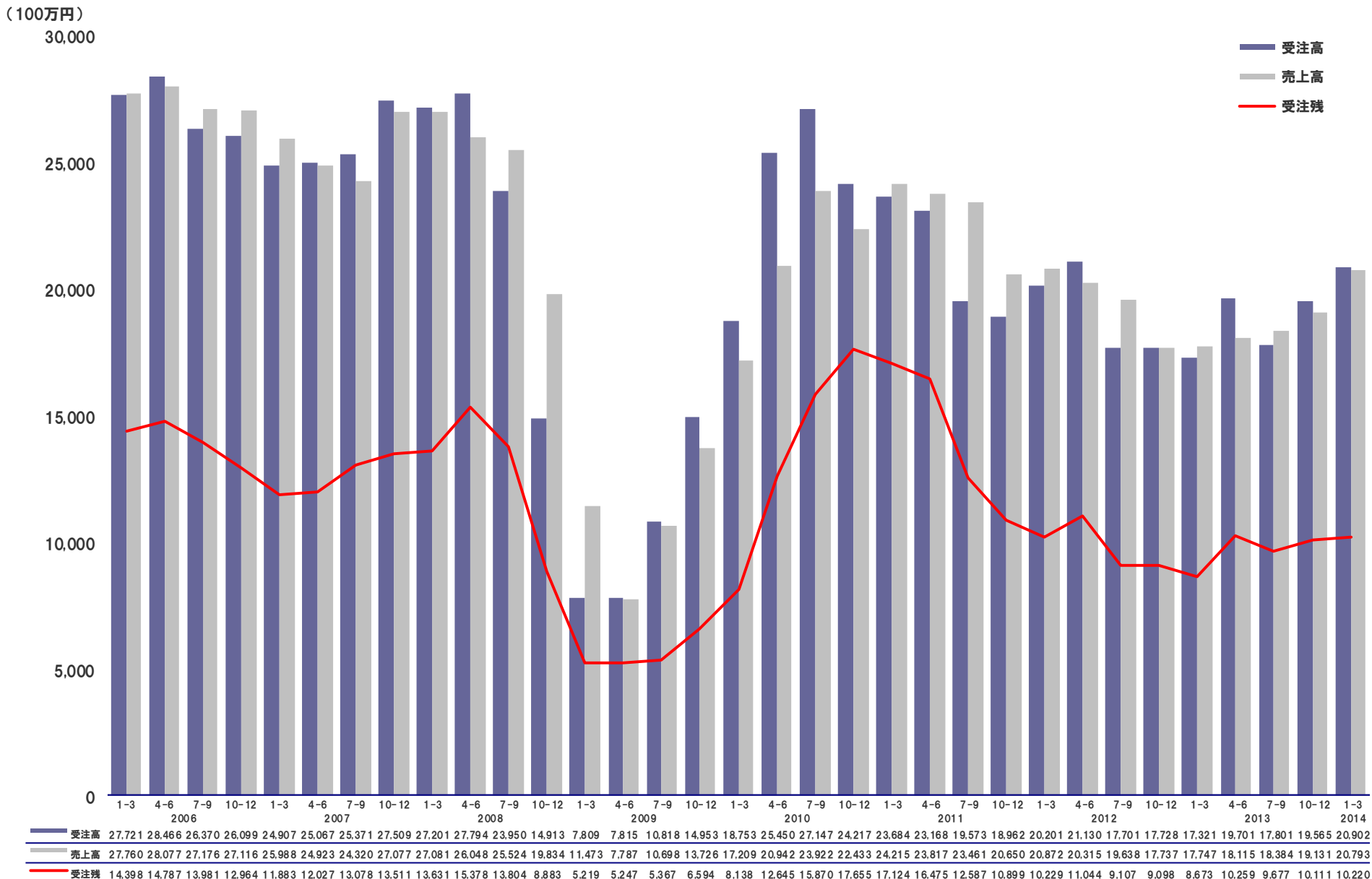
研究開発費 | 前期比 +445百万円、+11.3%

販売・物流費 | 前期比 +189百万円、+5.6%

減価償却費 | 前期比 +63百万円、+6.9%

人件費 | 前期比 +1,639百万円、+11.3%

【補足資料】受注高・売上高・受注残高の推移（単独国内）



【補足資料】業種別受注高の推移（単独）

